

「総合的な探究の時間」におけるキャリア教育 大学模擬講義及び鯉陵塾（1・2 学年）の取り組み

＜大学模擬講義＞

○目的 生徒一人ひとりが自身の興味・関心及び進路希望に応じて講座を選択し、各領域における学術研究の内容や職業との関連性等を踏まえた大学教授等による講義を通して、学問分野の理解を一層深めるとともに、物事を探究する姿勢・態度を育成し、進路意識の高揚及び進路実現に向けた今後の進路学習の動機付けを図る。

○実施日 令和3年10月12日(火) 第6・7校時 「総合的な探究の時間」2単位時間相当

○対象学年 第1学年及び第2学年

○講座(99分科会)

No	演題 ※()内は講師所属を示す。	人数
1	日本史研究の意義と方法 (東北大学)	54
2	災害シミュレーションと可視化～サイバー空間でレジリエントな地域・都市のデザインを支援する X-GIS の開発～ (東北大学)	45
3	リハビリテーション医学に役立つロボット技術開発 (東北大学)	53
4	地域活性化とビジネス (宮城大学)	45
5	知的財産法の基本的な考え方について (東北学院大学)	39
6	バイオによるものづくり (金沢大学)	45
7	言語表現に映し出される日英語話者の発想と文化 (新潟大学)	52
8	病気を見る (福島県立医科大学)	75
9	SDGs を考える (高崎経済大学)	31

※この行事は令和3年度高大連携事業に係る地域公開講座も同時開催しており、表中の人数には外部参加 32 名を含んだものである。



<鰐陵塾>

- 目的 各界の第一線で活躍している本校卒業生の講演を聴かせることにより、視野拡充・知識意欲喚起・建設的自己実現の契機とさせる。
- 実施日 令和4年1月25日(火) 第6・7校時
「総合的な探究の時間(1・2学年)」2単位時間相当
- 対象学年 第1・2学年
- 講師 株式会社石巻日日新聞 報道部記者 本庄 雅之 氏 (本校第50回生)



◆生徒の感想

●遺伝子組み換えという表記や、新型コロナウイルスのワクチンなど私達にとって身近な話題が多く、ヒトゲノムについてなど生物の授業で習った内容もあり、非常に興味深い内容でした。特に興味をひかれたのは、ミオスタチン欠損の話です。ウシやイヌが筋骨隆々になっている写真を見て、人間を対象にしたら強化人間が作れてしまうのでは…と思うほどに衝撃でした。技術だけで考えれば強化人間やクローンが作れてしまう可能性がある今、先生の仰っていた「技術に倫理がついてきていない」という言葉を改めて考えるべきだと感じました。
【大学模擬講義「バイオによるものづくり」】

●今回の講義で特に印象に残ったのは、日本語の助詞と英語に前置詞についてのお話です。私は英文を書く際にどの前置詞を使えば良いか分からないことがよくあったので、英語圏の独自の文化が元になった一貫した法則性に基づいて日本語より細かく場合分けされているという点がとても興味深かったです。また、私は大学で学びたい学問がまだ決まっておらず、未だ進路をしっかりと定められていないのですが、日常の小さな疑問などからでも、それを深く追求していくことでこんなにも壮大で一般化された結論を導き出せることを知り、大学という場所の意義を再認識するとともに、大学での学びに期待感が初めて芽生え、とてもわくわくしました。私も自分が本当に興味を持てる分野を焦らずに探して、大学生活を有意義なものにできるよう頑張りたいと思います。

【大学模擬講義「言語表現に映し出される日英語話者の発想と文化」】

●普段何気なく見ている新聞について、色々なことを聴けて面白かったです。同じネタについて、社会ごとに全然違うことなど、知ってはいたけれど、いざ解説を聞くと新しい視点があつて面白いと思いました。これからの生きていく中で「実物を見る」ということを大切にしていきたいです。
【鰐陵塾】

●新聞は情報がただたくさん載っているだけだと思いましたが、話を聴いてみて、新聞も人間が作った人間味があるものなのだと思いました。1つの情報だけであんなに受けとめ方と発信の仕方が違い、面白いなと感じました。今まで新聞を読んだ方が良い理由は社会を知るためだと思っていましたが、自分の見えている社会を広げるためだと聞き、新聞を読みたいなと思いました。ワードセンスが素敵でした。
【鰐陵塾】